



独立行政法人国立病院機構 東徳島医療センター

やさしい笑顔と よりそう医療

〒779-0193 徳島県板野郡板野町大寺字大向北1-1

TEL 088-672-1171 FAX 088-672-3809 URL <https://higashitokushima.hosp.go.jp/> e-mail 515-KANRIKA@mail.hosp.go.jp



新しく赴任してきて



外科部長 森下 敦司

東徳島医療センターに赴任してはや2ヶ月（執筆時）。少し遠ざかっていた消化器疾患に悪戦苦闘しながら、日々研鑽を積み重ねています。診療のメインは呼吸器外科という分野であり、今回は呼吸器外科についてお話をさせていただこうと思います。

呼吸器外科とは、要するに気管支・肺の外科です。その他に縦隔や胸壁の疾患をやっているというイメージでいいかと思います。どの外科の領域でも“Reduced port surgery”といって、これまでの内視鏡手術で行われてきた手術創数を減らしたり、手術創径を短縮したりする術式のことを指します。呼吸器外科でもこれまでの多孔式VATS（Video assisted thoracic surgery）から単孔式（Uniportal）VATSやロボット支援下手術へと術式が変遷してきていますが、それぞれに利点もあり欠点もあるというのが現状であり、例えば、Uniportal VATSはSolo surgery（執刀医一人で手術を行う）の側面が強く、手術教育面では不向きといった欠点があったり、ロボットについて言えばコストの問題が大きいのしかかります。こういった問題から、それぞれの施設でできることを踏まえた上で、独自のルールで使い分けしているというのが実際かと思っています。

当院ではda Vinciの購入はしていないため、多孔式か単孔式かのVATSで行うということになります。私は前任地（NHO高知病院）でUniportal VATSを精力的に行ってきました。導入の際には全国の著名な先生の手術見学やセミナーを受講して導入に至りました。中四国ではトップクラスの

症例を経験しています。せっかくのこの経験を活かしていきたいと考えており、まず手術道具集めに奔走しております。今後Uniportal VATS症例を積み重ねることができればいいなと考えています。創の数が減るとということは患者様の疼痛問題や整容性問題に大きく貢献すると考えていますが、実際には肺癌手術を受ける患者さんの多くが高齢者であり、「この歳やし傷は気にしないからちゃんと治してや」というようなニュアンスで言われることが多かったです。独自で集計した疼痛に関する比較ではあまり改善を認めなかったり（全国的には疼痛改善効果を認めた報告多数）と、思うようにいかない部分はありますが、長期的には患者満足度が高い印象はあるため、安全を担保できる状況でがんばって進めていきたいです。

話は変わりますが、「あの新しく来た先生はどんな人？」って聞かれたという話をちらほら聞いたのでこの場を借りて自己紹介をさせていただきます（興味ない方は次のページへGo）。出身は高知で、徳島大学胸部・内分泌・腫瘍外科（旧第2外科）所属です。現在こっそり大学院生をしています。趣味は学生時代からの硬式テニスと釣りです。テニスはそこそこうまいです。釣りは素人で、昨秋からイカ釣りを始めましたが、そう簡単に釣れるものではありません（コウイカが偶然釣れたという経験のみ）。人見知りなため、話しかけられるまで話さないタイプです。飲み会が大好きでカラオケ好きです。コロナで披露する機会もなくなってしまいました…。これからよろしくお願ひします。




NEW FACE


皆様よろしくお祈いします


名 前	まつお りょう 松尾 稜
職 種	事務部管理課 庶務係長
趣 味	野球観戦・アクアリウム
自己 P R	4月1日付の異動で高知病院から参りました。色々ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、一日でも早く職場に慣れ、しっかりと業務に取り組めるよう頑張りますのでよろしくお祈いいたします。

名 前	かみむら なおや 上村 直也
職 種	臨床検査技師長
趣 味	最近 思いつくものがない!?
自己 P R	四国がんセンターより異動してきました。出身は高知県です。高松療養所から始まり、東高知～高知～善通寺～岡山～四ガんと、当院で四国制覇しました。専門は移植医療や細胞治療関連の臨床検査に長年携わってきました。また前施設ではISO15189の認定取得と維持に検査技師人生をつぎ込んできました。病院機能評価や輸血機能評価も複数の施設で関わってきたのでその経験を生かしていきたいと思っています。趣味の欄に書くことがないことに、ふと気が付きました。20～30代はスキーや登山に行ったり、職場の早朝野球チームに所属していました。子供ができてからはキャンプや子供と「狩り」に出かけていましたが、30代後半からは職務上の対外的なことが増えて帰省もままならなくなっていました。そろそろソロキャンパーで復帰しようかと思っていますので、焚火に良い場所をご存じの方、ぜひ教えてください。宜しくお願いします。

名 前	むかい ちさと 向井 知里
職 種	作業療法士
趣 味	野球・サッカー観戦
自己 P R	四国こどもとおとなの医療センターから転動してきました。長距離通勤も徳島勤務も初めてで右往左往していますが、早く業務を円滑に実施できるよう頑張りたいと思います。分からないことが多々ありますので勇気を出して皆様にお聞きします。その際には優しく教えていただけると幸いです。よろしくお祈いいたします。

名 前	いわい むつし 岩井 睦司
職 種	事務部企画課 経営企画室長
趣 味	ドライブ・キャンプ・剣道
自己 P R	4月1日付にて、広島県の福山医療センターより参りました。9回目の転動で初めて四国の地での勤務となります。東徳島医療センターを見て、のどかな環境、そして、大きな「くすの木」と「桜の木」に癒しと感動を受けました。色々ご迷惑をおかけする場合がございますが、早く職場に慣れ戦力になれるように頑張りますのでよろしくお祈いいたします。

名 前	ふじもと ひろみ 藤本 博美
職 種	副看護部長
趣 味	特になし
自己 P R	愛媛医療センターから転動してまいりました。微力ながら頑張りますのでよろしくお祈いいたします。

名 前	きよた あかり 清田 朱梨
職 種	看護師
趣 味	自転車

名 前	みつふじ 光藤 めぐみ
職 種	看護師
趣 味	旅行
自己 P R	4月より愛媛医療センターから異動してきました。新しい環境と慣れない業務で毎日緊張の連続ですが病棟スタッフの方に支えられながら日々頑張っています。東1病棟に勤務していますが、個性性を重要視する看護が大切になるため早く患者さんの事を覚え病棟の理念でもある「やさしい笑顔とよりそう医療」ができるよう日々精進していきたいと思っています。これからよろしくお祈いいたします。

自己 P R	四国こどもとおとなの医療センター 重症心身障害児(者)病棟より異動してきました。重症心身障害児(者)病棟の患者さんは疾患や年齢などによって特徴が様々であることと、新しい環境ということで不安と緊張が大きかったです。患者さんとのコミュニケーションの取り方もまだまだわからないことがあります。しかし、病棟のスタッフの皆さんが患者さんについてやケア、業務について丁寧に教えてくださり、少しずつ病棟に慣れてきました。まだまだ不慣れなこともあり、ご迷惑をおかけしてしまうこともあるかもしれませんが、スタッフの皆さんにご支援していただきながら一杯頑張っていきたいと思っています。よろしくお祈いします。
--------	---

名 前	やまなか さき 山中 早紀
職 種	看護師
趣 味	買い物
自己PR	私は4月から四国こどもとおとなの医療センターから異動してきました。以前も重症心身障がい者の病棟での勤務でした。今まで学んできたことを生かしていきたいと思っています。また、それぞれの患者さんの個性をとらえられるよう日々看護していきたいです。4月から違う環境となり、不安なこともあり、皆様に迷惑をかけることもあるかもしれませんが頑張っていきたいと思っています。これからよろしくをお願いします。

名 前	おおつか かつひろ 大塚 克洋
職 種	主任保育士
趣 味	似顔絵を描くこと、テニスを最近始めました
自己PR	愛媛医療センターより異動してまいりました。出身地は愛媛県宇和島市です。愛媛病院（現愛媛医療センター）が最初の勤務先で、今回で6回目の異動となります。徳島県での勤務は10年前に徳島病院にて勤務しておりましたので2回目となります。「せこい」や「○○じょ」など阿波弁を再び聞くことができ、懐かしく思っています。療育指導室および他の職員の皆様、重症心身障害病棟の患者様、初めてお会いする方ばかりなので、新しい出会いを大切にしていきたいと思っています。よろしくお願いたします。最後に、早く新型コロナウイルスが落ち着いて、入院している患者の皆様が、以前のように外出や外泊などができるようになりますように！

名 前	そのたけ えいこ 其竹 映子
職 種	主任栄養士
趣 味	海外ドラマ鑑賞 読書
自己PR	4月より、高松医療センターから異動してきました。東徳島医療センターでの勤務は3年ぶりになります。電子カルテ導入、西4C病棟稼働など、3年の間に職場環境が大きく変わったことに加え、このたび栄養管理室長代理を拝命し、目を白黒させながら毎日の業務を行っているところです。「やさしい笑顔とよりそう医療」のために自分に出ることを精一杯頑張りたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いたします。

名 前	いしやま やすのぶ 石山 安伸
職 種	診療放射線技師
趣 味	旅行 BBQ
自己PR	4月より、四国こどもとおとなの医療センターから赴任して参りました。地元が愛媛県という事もあり、転勤をかさね四国すべて制覇させて頂きました。こちらに来る時のエピソードとしては、引越の際、ママチャリが勿体ないので香川から山越えて約6時間かけて乗って来た結果、車輪が曲がって使えなくなりました。それはそれでいい思い出です。こんな事をする無謀な人間ですが、やろうと決めたことは最後までやりきる精神を大事に、この職場でも活かしていきたいと思っています。

名 前	もんだ ゆきえ 門田 由紀枝
職 種	看護師長
趣 味	娘とホラー動画を見る
自己PR	10年ぶりに東徳島医療センターに戻ってまいりました。職員の方々の懐かしいお顔や、重症心身障害児（者）病棟の患者さんも元気そうな様子が見られてうれしく思っています。この度、教育担当看護師長として着任いたしました。教育担当だからこそ、東徳島医療センターの「看護」について考え、やさしい笑顔とよりそう医療をめざす看護実践について皆さんのサポートができるようフレキシブルに動きたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

名 前	こおり さちえ 郡 佐知江
職 種	看護師
趣 味	フットサル
自己PR	4月より岡山医療センターから西3病棟へ異動してきました。東徳島医療センターに来て初めて感じたことは、スタッフのみなさんがとても優しく親切で病院理念が定着されているということです。私も患者さんの立場に立ち、やさしい笑顔と寄り添う看護を目指し精進していきたいと思っています。至らない点が多く沢山ご迷惑をおかけすると思いますが、貢献できるよう頑張りますのでご指導・ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

名 前	たけとし みつる 竹歳 満
職 種	事務部長
趣 味	芝刈り（ゴルフ）
自己PR	このたび愛媛医療センターから参りました竹歳と申します。生まれは鳥取県北栄町（コナン君で有名?のようですが。ちなみに作者の青山氏は小中高の1年先輩です。）で、山陽荘病院（今の山口宇部医療センター）を皮切りに中国の施設を異動していたのですが、平成20年から愛媛病院（今の愛媛医療センター）に異動して以降は愛媛県に浸かっていましたので、東徳島医療センターの勤務は初めてになります。皆様と一緒に東徳島医療センターのため尽力していく所存ですので、何卒よろしくお願いたします。事務部長の罪は開放しておりますので、気軽に声を掛けください。

名 前	たねだ ゆか 種田 有香
職 種	看護師長
趣 味	トレッキング
自己PR	はじめまして。種田有香と申します。私は、高知で生まれ育ち、このたび東1病棟に配属となりました。十数年前の看護師人生のスタートも重症心身障害者病棟でした。初めての転勤で慣れないことも多い中、東徳島医療センターの「やさしい笑顔とよりそう医療」というスローガンを行動で示してくださっている職員の方々に支えられながら日々を過ごしています。そのような東徳島医療センターの一員として、地域のみなさんに、愛され、信頼されるように共に歩んでいきたいと思っています。これから、よろしくお願いたします。

名 前	せんば やすし 仙波 靖士
職 種	薬剤部 薬剤部長
趣 味	庭木の剪定、ミステリー、ゆるいバスケ
自己PR	4月1日より南岡山医療センターから参りました。愛媛県の出身で、四国に帰れることになり安堵していました。はじめは関西の言葉に近い阿波弁に戸惑いを感じましたが、穏やかで人懐こい方が多いことに再び安堵しているところです。人のやさしさに甘えることなく、まずは自分の役割をしっかりと認識し、義務を果たせるよう頑張りますのでよろしくお願いたします。

名 前	もりした あつし 森下 敦司
職 種	外科部長
趣 味	テニス
自己PR	今年度より新しく赴任して参りました森下です。出身は高知で大学は徳島大学出身です。学生時代より硬式テニスを続けており、今でもやっています。コロナ禍で難しくなりましたが、飲み会が大好きです。診療科は外科という大きな枠組みですが、専門は呼吸器外科で、前任地（国立病院機構高知病院）では多くの呼吸器外科手術症例を経験しました。特にUniportal VATS（単孔式胸腔鏡手術）に注力し、中四国トップクラスの症例経験を積み上げました。ロボット手術へ注目が集まる昨今ですが、地方中核病院としてできることを精一杯やっていきたいと思っています。ご迷惑をおかけすることが多々あるとは思いますが、よろしくお願いたします。

名 前	しまた けんた 島谷 賢太
職 種	理学療法士
趣 味	ゴルフ（スコア90~100）
自己PR	山口県の柳井医療センターから転勤してきました。10年ぶりに出身地の徳島に戻ってきたのですが、初めての電子カルテなど慣れない業務で忙しく感傷に浸るヒマもありません。柳井では主にパーキンソン病やALSなど神経難病の患者さんを担当してきましたが、転勤に伴いまた違った病気の患者さんを担当しますので日々勉強しています。一日でも早く病院の戦力になれるよう努力していきますのでよろしくお願いたします。



熱中症予防

について



特定行為研修修了者 副看護師長 矢野 祐樹

暑い季節となり、気温が30度を超える日も多くなりました。この時期に注意が必要なのが「熱中症」です。熱中症とは、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温の調節機能が働かなくなったりすることで、体温の上昇やめまい、けいれん、頭痛などのさまざまな症状を起こす病気のことです。場合によっては命の危険もあります。

今回は熱中症の予防法についてお話をさせていただきます。

熱中症を予防するためには次のようなことに注意しましょう。

①暑さを避けましょう

外出時にはなるべく日陰を歩く、帽子や日傘を使うことが大切です。家の中では、ブラインドやすだれで直射日光を遮る、扇風機やエアコンで室温・湿度を調整し、屋内でも熱中症に注意しましょう。

②服装を工夫しましょう

理想は、外からの熱の吸収を抑え、体内の熱をスムーズに逃がす服装がおすすめです。

素材は、吸収性や通気性の高い綿や麻などがいいでしょう。また、熱がこもらないよう、襟ぐりや袖口があいたデザインもおすすめです。ちなみに、薄着のほうが涼しいですが、インナーなどの

肌着を着たほうが肌とインナー、インナーとアウターの間に空気の層ができ、外からの熱気を遮断してくれます。

③こまめな水分補給に心がけましょう

暑い日には知らず知らずのうちに汗をかき、体内の水分が失われているものです。のどが渇く前から水分をこまめに補給しましょう。ただし、コーヒーや緑茶などのカフェインが多く含まれている飲み物、アルコール類は利尿作用があるので適しません。また、汗をかくと、水分と一緒にミネラルやビタミンも失われます。水分補給だけではなく、ミネラルも補給するようにしましょう。スポーツ飲料は、水分とミネラルを同時に補給できますが、糖分が多いので飲み過ぎには注意が必要です。ミネラルを補給するには、麦茶がおすすめです。

④暑さに備えた体作りに取り組みましょう

ウォーキングやランニング、入浴など汗をかく習慣を身につけ自律神経を整えることで、熱中症予防につながります。日頃から暑さに体を慣らしておきましょう。

これらの予防法を参考に、暑い夏を一緒に乗り切っていきましょう。



日本DMAT

隊員養成研修に行ってきました!



皆さんDMATをご存じですか? テレビなどでもしかしたら聞いたことあるという方もいらっしゃるかもしれませんが、DMATとは「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」であり、災害派遣医療チームDisaster Medical Assistance Teamの頭文字をとって略して「DMAT (ディーマツト)」と呼ばれています。

私は、5月18日から5月21日の4日間にわたり、兵庫県神戸市にある、兵庫県災害医療センターで開催された、令和4年度第1回日本DMAT隊員養成研修に参加してきました。通算133回目となるこの研修では、西日本各地から25人の医療従事者が集まりDMAT隊員として活動するための基礎を学びました。

研修の中で筆記試験や実技試験があると聞いて不安が大きかったのですが、講師の皆さんは親切で、講義の中で生まれた質問には丁寧に答えてくださりましたし、衛星電話やトランシーバー等の実習は楽しく、強く印象に残るものだったので、しっかりと合格点を取ることができました。

試験以外にも、施設の大きさや職種の違う参加者とチームを作り、グループ討論や、実際にDMATとして出動した想定での実践訓練を行いました。どの参加者も率先して意見を出し、行動ができる方ばかりで、とても有意義な研修になりました。

今回、災害時における医療チームとしての活動について、様々なことを学んで徳島に帰ってきました。DMAT隊員としてはまだ入り口に立ったばかりですが、当院の先輩隊員方とともに、災害時に被災現場で最大限の支援ができるよう、これからもっと成長していきたいです。

(放射線科/村上幸弘)